

高校入試 英語 完全攻略

構造図解

ビジュアル読解トレーニング

Active Study

問題編



文法単元順カリキュラム

解答と解説 **Grade2**

■ 解答 ■

問 1	彼女は今、日本で英語を教えています。
問 2	②
問 3	8 月 10 日にカナダに着くこと、次の日に友だちとパーティーを すること、そして家族と海で泳ぐこと
問 4	①

[解説]

問 1 She teaches English：彼女は英語を教えています
in Japan：日本で
now：今

→ 全体で「彼女は今、日本で英語を教えています」となります。

問 2 during は「～の間に」という意味で、特定の期間を表すのに使います。ここでは「夏休みの期間中に」という意味なので、② during が最も自然です。

① for：「～の間（ずっと）」を意味するため、一時的な動作とは合わない

③ on：日付や曜日と一緒に使う（例：on Monday）

④ at：時刻や一点を表す場合に使う（例：at 5 p.m.）

問 3 本文には Ms. Green の予定として、次の 3 つのことが書かれています：

1. 8 月 10 日にカナダに着く
2. 次の日に友だちとパーティーをすること
3. 家族と海で泳ぐこと

問 4 主語：Her family（彼女の家族）

動詞：lives（住んでいる）

near the sea（海の近くに）

正しい語順は、① 5-1-3-4-6-2（Her family lives near the sea）です。

文の意味は「彼女の家族は海の近くに住んでいます」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	月曜日は一日中雨で、最低気温は 10 度、最高気温は 19 度です。
問 2	②
問 3	土曜日はおおむねくもりでしょう。
問 4	④

[解説]

問 1 It will rain all day on Monday. (月曜日は一日中雨が降るでしょう)

The low will be 10 degrees, and the high will be 19 degrees. (最低気温は 10 度、最高気温は 19 度)

→ これらを日本語でまとめて書きます。

問 2 都市名とともに使って「～で」を表す場合は ② in を使います。例：in Osaka

① at：場所の一点（建物など）を表す

③ on：日付や表面に使う

④ by：そばに、～までに、などの意味

問 3 On Saturday：土曜日に

it will be：～でしょう（未来形）

mostly cloudy：おおむねくもり

→ 全体で「土曜日はおおむねくもりでしょう」となります。

「mostly cloudy」は「一部晴れ間はあるが、ほとんどくもり」という意味です。

問 4 主語：rain（雨が）

助動詞＋動詞：will begin（始まるでしょう）

late in the evening（夕方遅くに）

正しい語順は、④ 6-1-4-7-3-2-5

（rain will begin late in the evening）です。

文の意味は「雨は夕方遅くに降り始めるでしょう」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	②
問 2	料理人たちが肉と野菜を煮込んで作ったスープ
問 3	そこで、人々はそのスープを「レストラン」と名づけました。
問 4	①

[解説]

問 1 「英語のように見える」という意味になるのが looks です。

① doesn' t (～しない) →意味が合わない

③ knows (知っている) →主語が物 (It) なので不自然

④ didn' t (～しなかった) →時制も意味も合わない

→ よって、② looks が正解です。

問 2 直前の文に「The cooks stewed meat and vegetables and got their soup.

(料理人たちは肉と野菜を煮込み、スープを作りました)」とあるため、
ここでの It は、このスープのことを指しています。

問 3 So : そこで、それで

people named the soup “restaurant.” : 人々はそのスープを「レストラン」
と名づけました

「name A B」は「A を B と名づける」という意味の動詞パターンです。

→ 全体で「そこで、人々はそのスープを『レストラン』と名づけました」と
なります。

問 4 because (接続詞 : ～なので)

主語 : the soup (そのスープが)

動詞 : was (～だった)

補語 : popular (人気があった)

正しい語順は、① 5-3-2-1-4 (because the soup was popular) です。

文の意味は「そのスープが人気だったので」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	ボブと彼のお母さんは長い間福岡空港で待ちました。
問 2	④
問 3	①
問 4	2 時間後

[解説]

- 問 1 Bob and his mother : ボブと彼のお母さんは
waited : 待ちました (過去形)
at Fukuoka Airport : 福岡空港で
for a long time : 長い間
→ 全体で「ボブと彼のお母さんは長い間福岡空港で待ちました」となります。
- 問 2 「a lot of people」が複数形なので、be 動詞は複数形を使います。
また、この出来事は過去のことなので、過去形 ④ were が正解です。
- 問 3 疑問詞+will+主語+動詞の原形の順になるのがポイントです。
疑問詞 : when (いつ)
will (～でしょうか)
主語 : our plane (私たちの飛行機)
動詞+副詞 : take off (離陸する)
正しい語順は、① 3-4-1-6-2-5 (When will our plane take off) です。
文の意味は「私たちの飛行機はいつ離陸しますか」です。
意味が通じ、自然な英文になります。
- 問 4 「The plane will take off soon. (飛行機はすぐに離陸します) とアナウンスがあり、その後の文章に「Two hours later, the plane left Fukuoka Airport at last.」(2 時間後に飛行機は福岡空港を出発した) とあります。
したがって、この "soon" は実際には「2 時間後」のことを指しています。

■ 解答 ■

問 1	人々はそれらを花の一種として見て楽しんでいただけでした。
問 2	②
問 3	トマト
問 4	②

[解説]

問 1 people：人々は
just：～だけ（強調）
enjoyed looking at them：それらを見て楽しんだ
as a kind of flower：花の一種として
→ 全体で「人々はそれらを花の一種として見て楽しんでいただけでした」となります。
「them」は直前の文脈からトマトを指しています。

問 2 後半の「トマトが赤くて酸っぱい」という性質が、前半の「有毒だ」と信じた理由として述べられているため、理由を導く接続詞 ② because が適切です。
① if（もし～ならば）→ 条件を表し、理由にはならない
③ although（～だけれども）→ 逆接・譲歩の意味で、ここでは不適切
④ so（だから）→ 結果を導く接続詞で、前後の因果関係が逆になる

問 3 「they」は三人称複数形の代名詞で、本文の直前に登場した tomatoes を指します。文脈では「それらは安全であるだけでなく、おいしいことが分かった」という記述なので、「それら」はトマトを意味します。

問 4 主語：some people（何人かの人々は）
動詞：tried（試した）
目的語：tomatoes（トマトを）
for the first time（初めて）
正しい語順は、② 4-1-2-7-8-5-3-6
（some people tried tomatoes for the first time）です。
文の意味は「何人かの人々が初めてトマトを試しました」です。
意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	②
問 2	図書館
問 3	そのような古い建物の中で飲食をしてはいけません。
問 4	①

[解説]

問 1 ② has は「～を持っている」「～がある」という意味で、町が多くの伝統的建物を有していることを表します。

① is : 「～です」→主語と述語がイコールの関係になる場合に使うが、ここでは不自然。

③ says : 「～と言う」→町がそれ以降の内容を言うのは不自然。

④ eats : 「食べる」→主語が町では意味が合わない。

問 2 後の文で「That is the library.」と説明されているので「that tall building」は図書館を指します。

問 3 You : あなたは (一般的に人を指す)

must not : ～してはいけない (強い禁止)

eat or drink : 食べたり飲んだりする

in such old buildings : そのような古い建物の中で

→ 全体で「そのような古い建物の中で飲食をしてはいけません」となります。

「such old buildings」は前文にある library を含む、町の古い建物を指しています。

問 4 主語 : the newspaper (新聞が)

動詞 : says (～と言っている)

it may rain today (今日は雨が降るかもしれない)

正しい語順は、① 2-3-7-5-4-1-6

(The newspaper says it may rain today) です。

文の意味は「新聞は、今日は雨が降るかもしれないと言っています」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	②
問 2	私があなたのために地図を描きましょうか。
問 3	ペン
問 4	①

[解説]

問 1 「人に～を教える」という意味の場合、② tell を使います。

「tell + 人 + ～」の形で「人に～を伝える／教える」を表します。

① say：「～と言う」ですが、目的語として人を直接後ろに置かない。

③ speak：「話す」という動作一般を表す。

④ talk：「話す」ですが、目的語として人を直接後ろに置かない。

問 3 Shall I ～? は「私が～しましょうか」という申し出の表現。

draw a map：地図を描く

for you：あなたのために

→ 全体で「私があなたのために地図を描きましょうか」となります。

問 4 文中で woman はペンを持っていなかったので、「Can I use your pen?」（あなたのペンを使ってもいいですか）と man に尋ねました。ところが、「He didn't have one, either.」（彼もまた持っていませんでした）と言っています。この one は直前に出てきた pen を受けており、同じ名詞をくり返す代わりに使われています。

問 2 主語：I

動詞：don't have to get

目的語：a pen

正しい語順は、① 4-1-3-2-5-6（I don't have to get a pen）です。

文の意味は「私はペンを取りに行く必要がありません！」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	①
問 2	夜に虹を見るのは難しいです。
問 3	夜に見られる虹
問 4	②

[解説]

問 1 主語：my dream (私の夢は)

動詞：is (～です)

補語：to be a professional photographer (プロの写真家になること)

正しい語順は、① 6-2-4-1-5-3

(My dream is to be a professional photographer) です。

文の意味は「私の夢はプロの写真家になることです」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

問 2 it is difficult to see ～：～を見るのは難しい

rainbows：虹 (複数形)

at night：夜に

→ 全体で「夜に虹を見るのは難しいです」となります。

問 3 直前の文で「we might see a rainbow at night (夜に虹が見られるかもしれない)」と述べられています。その後に「This is a moonbow.」とあり、この This は「夜に見られる虹」を指しています。

問 4 People in Hawaii：ハワイに住んでいる人々

「～に住んでいる」という意味で ② in が最も適切です。

① on：「～の上に」という物理的な位置関係を表す前置詞です。「People on Hawaii」というと「ハワイ島の上にいる人々」という意味になります。

③ at：「～で (点としての場所)」を表す前置詞で、特定の場所や地点を指すときに使います。都市や国のような広い範囲を示す場合には at は使いません。

④ as：「～として」という役割や身分を表します。「People as Hawaii」とすると「ハワイとしての人々」という意味になり、場所を示す目的では適切ではありません。

■ 解答 ■

問 1	ボブはお年寄りの女性グリーンさんを助けるために訪ねます。
問 2	ボブとグリーンさん
問 3	③
問 4	①

[解説]

問 1 Bob visits：ボブは訪ねます

an old woman, Ms. Green：年配の女性、グリーンさんを

to help her：彼女を助けるために

→ 全体で「ボブはお年寄りの女性グリーンさんを助けるために訪ねます」となります。

問 2 直前の文に「Bob visits an old woman, Ms. Green, to help her.」とあり、

「they talk a lot at her house.」と続いていることから、ここでの they は「ボブとグリーンさん」を指しています。

問 3 listen は「～を聞く」という意味で使う場合、前置詞 ③ to を伴います。

例：listen to music（音楽を聞く）、listen to him（彼の話を聞く）

問 4 主語：Bob（ボブは）

動詞：is（～です）

補語：happy（うれしい）

to see her smile（彼女の笑顔が見れて）

正しい語順は、① 3-2-6-7-4-5-1

（Bob is happy to see her smile.）です。

文の意味は「ボブは彼女の笑顔を見ることができてうれしい」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	彼のためにしなければならないことがたくさんあります。
問 2	①
問 3	②
問 4	トムの母親

[解説]

問 1 There are : ～がある
a lot of things : たくさんのこと
to do for him : 彼のためにすべき
→ 全体で「彼のためにしなければならないことがたくさんあります」となります。

問 2 主語 : she (彼女は)
動詞 : likes (～が好きだ)
目的語 : to take care of him (彼の世話をすること)
正しい語順は、① 5-4-7-6-1-2-3
(She likes to take care of him) です。
文の意味は「彼女は彼 (犬) の世話をするのが好きです」です。
意味が通じ、自然な英文になります。

問 3 Tom は犬を欲しがっているが、一方で彼の母は犬を欲しがっていません。
この文脈では、対立 (逆接) を表す接続詞が必要ですから、② but (しかし) が適切です。
① so : だから → 原因・結果の関係になり、文脈として不自然
③ or : または → 選択を表し、文意に合わない
④ because : なぜなら → 理由を表すが、Tom が犬を欲しい理由ではない

問 4 直後の文「There's a wonderful animal hotel in our city. During the trip, your pet can stay there.」(動物ホテルに犬を預けられる) が Aki のアイデアです。このアイデアを聞かせたい相手は、犬を飼うことに反対している人＝トムの母親です。

■ 解答 ■

問 1	②
問 2	彼は電車で一人で自分の町の隣にある図書館に行きました。
問 3	彼が帰り道で道に迷っていたとき
問 4	③

[解説]

問 1 Tom が「わからないことがあるとき、周りの人がいつも教えてくれる」と感じていることから、日本人は親切 (② kind) だと思っているとわかります。

① shy (恥ずかしがりの)

③ busy (忙しい)

④ strong (強い)

→ これらは Tom が感じた印象としては不自然です。

問 2 went to the library : 図書館に行った

next to his town : 彼の町の隣にある

by train : 電車で

alone : 一人で

→ 全体で「彼は電車で一人で自分の町の隣にある図書館に行きました」となります。

問 3 直前の文に「On his way home, he got lost. (帰り道で道に迷った)」とあり、そのすぐあとに「At that time, a Japanese woman talked to him.」と続くため、At that time は「道に迷っていたとき」を指します。

問 4 She told him : 彼に伝えた

how to get to the station : 駅への行き方

正しい語順は、③ 6-1-8-5-3-4-9-7-2

(She told him how to get to the station) です。

文の意味は「彼女は彼に駅への行き方を教えました」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	②
問 2	④
問 3	チーリンの「私たちは英語を話すことで理解し合える。 私たちはずっと友達です。」という言葉
問 4	世界中の人々と話す機会をたくさん持つために

[解説]

問 1 ここでは「～へ行った」という意味で、② went が最も適切です。

① visited → 「visited a house」なら正しいが「visited to a house」は文法的に誤り。

③ lived → 「lived to a house」は誤りで「～に住んだ」と言いたい場合は「lived in a house」となる。

④ walked → 「walked to a house」は文法的には可能だが、「日本からホームステイ先の中国に歩いて行った」という文脈は不自然。

問 2 主語：he（彼は）

動詞：started（始めた）

目的語：talking with her in English（英語で彼女と話すこと）

正しい語順は、④ 6-1-3-5-4-2

（he started talking with her in English）です。

文の意味は「彼は彼女と英語で話し始めました」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

問 3 直前に「She said, “We can understand each other by speaking English.

We’ll be friends forever.”」とあります。この「She」はケンがホームステイした家の娘チーリンを指しているので、「her words」はチーリンの「英語で理解し合える・ずっと友達」だという言葉を表しています。

問 4 to have ～：「～を持つために」（動作の目的を表す不定詞）

a lot of chances：たくさんの機会

to speak with people：人々と話す

all over the world：世界中の

→ 全体で「世界中の人々と話す機会をたくさん持つために」となります。

■ 解答 ■

問 1	「汗をかくこと」がセーターという名前の由来になっている理由
問 2	③
問 3	アメリカのフットボール選手たちは特別な暖かいユニフォームを着始めました。
問 4	①

[解説]

問 1 直前の文「The name comes from “to sweat.”（その名前は「汗をかく」という意味から来ている）」を受けて、「なぜセーターがそう呼ばれるのか」という理由を尋ねています。

問 2 年号の前には、前置詞 ③ In を使います。

① On は日付や曜日に使う。

② At は時刻に使う。

④ For は期間や目的に使う。

問 3 football players in America：アメリカのフットボール選手たちは
started wearing：着始めた

a special warm uniform：特別な暖かいユニフォームを

→ 全体で「アメリカのフットボール選手たちは特別な暖かいユニフォームを着始めました」となります。

問 4 主語：to lose weight（体重を減らすことは）

動詞：is（～です）

補語：important（重要だ）

for them（彼らにとって）

正しい語順は、① 5-1-3-4-6-7-2

（To lose weight is important for them）です。

文の意味は「体重を減らすことは彼らにとって重要です」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	マイクは数年前にアメリカから日本に来ました。
問 2	③
問 3	①
問 4	日本とアメリカ

[解説]

- 問 1 Mike : マイクは
 came to Japan : 日本に来た
 from America : アメリカから
 a few years ago : 数年前に
 → 全体で「マイクは数年前にアメリカから日本に来ました」となります。
- 問 2 前後の文から、アメリカ人と対比されているのは日本人。したがって、ここに当てはまるのは ③ Japanese になります。
- 問 3 主語 : A rainbow (虹は)
 動詞 : has (～を持っている)
 目的語 : seven colors (7 色)
 in Japan (日本では)
 正しい語順は、① 3-5-4-1-6-2-7
 (A rainbow has seven colors in Japan) です。
 文の意味は「日本では虹は 7 色あります」です。
 意味が通じ、自然な英文になります。
- 問 4 本文では、太陽の色・月の色・虹の色の表現をめぐって、日本とアメリカの違いが述べられています。したがって、「two countries」は「日本とアメリカ」を指しています。

■ 解答 ■

問 1	②
問 2	火星は小さな惑星で、地球よりも小さいです。
問 3	②
問 4	火星の最も高い山

[解説]

問 1 文は：There are many differences (A) Earth and Mars.

→ 「地球と火星の (A) 多くの違いがあります」

between は「～の間に」を表す。したがって正解は② between。

① with (～と一緒に) →共にする相手を表す

③ into (～の中へ) →動作の方向を表す

④ under (～の下に) →位置を表す

問 2 Mars = 火星

is = である

a small planet = 小さな惑星

and it is smaller than Earth = そして、それは地球よりも小さい

→ 全体で「火星は小さな惑星で、地球よりも小さいです」となります。

問 3 ※ 主語：Earth (地球は) ※ 動詞：needs (必要とする)

※ 目的語：365 days (365 日を)

to go around the sun (太陽のまわりを回るために)

正しい語順は、② 2-4-5-1-3 (To go around the sun) です。

文の意味は「太陽のまわりを回るために」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

問 4 The highest mountain on Mars is about 27,000 meters high, and it is higher than the highest mountain on Earth.

→ 「火星の最も高い山は約 27,000 メートルの高さで、「それ」は地球の最も高い山よりも高いです」

ここでの it は直前に出てきた「The highest mountain on Mars (火星の最も高い山)」を指しています。

■ 解答 ■

問 1	③
問 2	読書
問 3	私たちのクラスで一番人気のあることは何ですか。
問 4	①

[解説]

問 1 文は：Today I am going to talk (A) popular things to do in our free time.

→「今日は、私たちの自由時間にすることの人気のあること (A) 話します。」

「talk about ～」は「～について話す」を表す。正解は、③ about。

① at (～で) →場所を表す

② from (～から) →出所・起点を表す

④ of (～の) →所属や部分を表す。

問 2 音楽を聴くことが一番人気：Listening to music is the most popular thing.

読書はスポーツより人気がある：Reading books is more popular than playing sports.

スポーツとテレビゲームは同じくらい人気がある：Playing sports is as popular as playing video games.

→ よって、第二位は「読書」となります。

問 3 What = 何

is = ～です

the most popular thing = 一番人気のあること

to do in our class = 私たちのクラスです

→ 全体で「私たちのクラスで一番人気のあることは何ですか」となります。

問 4 主語：Listening to music (音楽を聴くこと)

動詞：is (～です)

補語：the most popular thing (最も人気のあること)

正しい語順は、① 6-1-4-5-3-2-7

(Listening to music is the most popular thing) です。

文の意味は「音楽を聴くことが最も人気のあることです」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	①
問 2	③
問 3	今、日本の若者はご飯よりもパンを食べることのほうが多いです。
問 4	米

[解説]

問 1 主語：you (あなたは)

動詞：like (好きです)

目的語：to eat (Which) better for breakfast

正しい語順は、① 7-4-6-5-1-2-8-3

(Which do you like to eat better for breakfast) です。

文の意味は「朝食に食べるなら、ご飯とパンのどちらがより好きか」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

問 2 文は：I like rice better (A) bread.

→「私はパン (A) ご飯のほうが好きです」

「than」は「～よりも」を表す。正解は、③ than。

① for (～のために)

② at (～で)

④ from (～から)

問 3 主語：young Japanese people (日本の若者)

動詞：eat (食べる)

目的語：bread (パンを)

more often than rice (ご飯よりしばしば)

→ 全体で「今、日本の若者はご飯よりもパンを食べることのほうが多いです。」となります。

問 4 「I think rice is one of the most important things for our culture, so we should protect it. (米は私たちの文化にとって最も大切なものの一つだと思うので、私たちは「それ」を守るべきです)」

→ it は「rice (米)」を指しています。

■ 解答 ■

問 1	①
問 2	その子どもたちの中には病気を持っていて、死にかけている子もいます。
問 3	インターネットで見つけたホームページ
問 4	③

[解説]

問 1 主語： a lot of children (たくさん子どもたちが)

動詞： were lying (横たわっていた)

on the streets (通りに)

正しい語順は、① 7-1-5-6-3-4-2

(A lot of children were lying on the streets) です。

文の意味は「たくさん子どもたちが通りに横たわっていました」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

問 2 Some of the children：「その子どもたちの中には」

have diseases：「病気を持っている」

they're dying：「彼らは死にかけている」

→ 全体で「その子どもたちの中には病気を持っていて、死にかけている子もいます」となります。

問 3 直前の文「He found a homepage on the Internet.」に対応しています。

It が指しているのは、Tom がインターネットで見つけたホームページです。

問 4 文脈は「800 個のキャップで、お金を得て子どもたちのために薬を買える」という内容です。

「buy」は(人に物を買う) → (物を買う + ~のために) の形に書きかえられる動詞で、書き換える際は、前置詞 for を使う決まりがあります。

よって正解は、③ for。

■ 解答 ■

問 1	①
問 2	ヒロシとベン
問 3	③
問 4	彼女はヒロシから英語を学び、少し話すことができました。

〔解説〕

問 1 主語：Ben（ベン）

動詞：visited（訪れた）

目的語：her（彼女＝祖母）

with Hiroshi（ヒロシと一緒に）

for the first time（初めて）

正しい語順は、① 1-2-3-4-5-6

（Ben visited her with Hiroshi for the first time）です。

文の意味は「ベンはヒロシと一緒に初めて彼女（祖母）を訪れました」です。

②「ベンは彼女と一緒に、初めてヒロシを訪ねた」は文脈上不自然です。

問 2 「She made lunch for them.」の them は、彼女の家を訪問する「ベン」と「ヒロシ」の二人を指しています。

問 3 ここでは「英語で」という表現が必要です。前置詞 ③ in を使います。

speak in English（英語で話す）、write in Japanese（日本語で書く）など

① on English → 「英語の上で」という意味になり、不自然。

② at English → 「英語で」という意味にはならない。

④ by English → 「英語によって」という直訳になり、不自然。

問 4 learned English from Hiroshi = 「ヒロシから英語を学んだ」

could speak it a little = 「それ（英語）を少し話すことができた」

主語は「She（祖母）」を指します。

→ 全体で「彼女はヒロシから英語を学び、少し話すことができました」となります。

■ 解答 ■

問 1	①
問 2	③
問 3	日本で午後 5 時のとき、ニュージーランドでは午後 9 時です。
問 4	日本食

[解説]

問 1 主語：my sister (私の姉 / 妹)

動詞：will visit (訪れるつもりだ)

目的語：New Zealand (ニュージーランド)

to study English (英語を勉強するために)

正しい語順は、① 1-3-2-4-5-8-7-6

(My sister will visit New Zealand to study English) です。

文の意味は「私の姉 (妹) は英語を勉強するためにニュージーランドを訪れるつもりです。」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

問 2 「日本では () ですが、そこ (ニュージーランド) では夏です。」

直前の文に「12 月に訪れるつもりです」とありますので、

日本では ③ winter (冬) が正解となります。

問 3 When it's five p.m. in Japan：「日本で午後 5 時のとき」

it's nine p.m. in New Zealand：「ニュージーランドでは午後 9 時です」

→ 全体で「日本で午後 5 時のとき、ニュージーランドでは午後 9 時です」となります。2 か国の時差 (4 時間) が具体的に表されています。

問 4 She found out that she didn't know anything about Japanese food,

(彼女は日本食について何も知らなかったとわかった) とあります。

そのあとに、so she is studying it. (だから、彼女は それ を勉強している) と続くので、it は 「Japanese food (日本食)」 を指しているとわかります。

■ 解答 ■

問 1	②
問 2	江戸時代から昭和初期まで
問 3	②
問 4	京都で、ある店がそばの上にニシンをのせて出し始めたこと

[解説]

- 問 1 主語：she（彼女＝母）
 動詞：said（言った）
 that 節（目的語）：Nishin Soba noodles were famous（ニシンそばが有名である）
 正しい語順は、② 4－2－3－1－5－6
 （She said that Nishin Soba noodles were famous）です。
 文の意味は「彼女（母）は、ニシンそばは有名だと言いました」です。
 意味が通じ、自然な英文になります。
- 問 2 「From A to B」で「A から B まで」となります。
- 問 3 「人々はニシンを乾燥させ、それらを大阪に船（ ）運びます」
 「by～」は「～で（手段）」を表すので、正解は、② by。
 ① at ship → 「船で」ではなく「船での場所に」になる
 ③ on ship → 「船の上で」と場所の意味になる
 ④ with ship → 「船と一緒に」となり不自然
- 問 4 直前に「京都で、ある店がそばの上にニシンをのせて出し始めた」と説明があるので、That はこの出来事を指しています。

■ 解答 ■

問 1	④
問 2	穴があいていること
問 3	穴のある硬貨とない硬貨を簡単に見分けることができます。
問 4	①

[解説]

- 問 1 ① on the middle (誤用。通常 on は表面に接している場合に用いる)
 ② at the middle (不自然な表現)
 ③ from the middle (「真ん中から」という意味になるので不適)
 ④ in the middle (真ん中に)

- 問 2 直前の文に「Then, why do they have holes?
 (では、なぜそれらには穴があるのでしょうか)」とあります。
 → つまり、「that」は「穴があいていること」を指しています。

- 問 3 we can easily tell A from B : A と B を簡単に見分けられる
 coins with holes : 穴のある硬貨
 coins without holes : 穴のない硬貨
 → 全体で「穴のある硬貨とない硬貨を簡単に見分けることができます」となります。

- 問 4 coins with holes : 穴のある硬貨
 are used : 使われている (受動態)
 in some other countries : 他のいくつかの国で
 正しい語順は、① 5-6-8-2-4-9-1-7-3
 (coins with holes are used in some other countries) です。
 文の意味は「穴のある硬貨は他のいくつかの国でも使われています」です。
 意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	茶わんや湯のみ(など)
問 2	私たちは焼き物を土で作ります。
問 3	③
問 4	①

[解説]

問 1 直前に「you use a rice bowl」「you use a tea cup」とあり、それらをまとめて「These things (これらのもの)」と指しています。

→ よって、「These things」は「茶わんや湯のみ」などの焼き物の食器を表しています。

問 2 We make：私たちは作ります

yakimono：焼き物

with clay：土で

→ 全体で「私たちは焼き物を土で作ります」という意味になります。

問 3 「the first products of *yakimono* in Japan were weak (最初の焼き物は弱かった)」とあります。

→ 対比として「今ではより強い焼き物を作れるようになった」と言いたいので、③ stronger が適切です。

問 4 主語：*yakimono* (焼き物)

動詞：is also called (～とも呼ばれている) 受動態

補語：*setomono* (せともの)

副詞句：especially in the east area of Japan (特に日本の東部地域で)

→ 正しい語順は、① 1-6-4-9-2-11-3-7-5-10-8-12

(*yakimono* is also called *setomono* especially in the east area of Japan)

意味「焼き物は、特に日本の東部地域では「せともの」とも呼ばれています。」

意味が通じ、自然な英文になります。